

第58回 早稲田社会学会 大会・総会プログラム

日時： 2006年7月1日（土）10:00～18:00

会場： 早稲田大学文学部 33号館 2F 第1会議室

参加費： 1,000円

受付開始 9:30

一般報告 10:00～13:00

司会： 周藤 真也（早稲田大学） 木村 正人（早稲田大学）

伊藤 聰洋（早稲田大学文学研究科）： 宗教をめぐる近代化論の諸相

関水 徹平（早稲田大学文学研究科）： 「社会性」概念の再検討

小林 杏（早稲田大学文学研究科）： 死児写真をめぐる考察

河野 昌広（早稲田大学文学研究科）： 現代の四国遍路に見るスピリチュアリティ

熊本 博之（明星大学・早稲田大学）： 迷惑施設建設問題と地域ケイパビリティ

——辺野古住民によるある試みを事例に

池田 祥英（早稲田大学）： 同時代の欧米におけるタルド社会学の受容について

昼休み 13:00～14:00

理事会 13:00～14:00 (39号館 3F 社会学専修室)

シンポジウム打ち合わせ 13:00～14:00 (33号館 2F 第2会議室)

シンポジウム 14:00～17:00

テーマ「文化の社会学の可能性」

報告者：伊藤 守（早稲田大学）：ポストモダニティにおける文化<と>政治を問いかず

——テレビ文化の研究から

長谷 正人（早稲田大学）： ポストモダンの終焉をめぐって

佐藤 郁哉（一橋大学）： フィールドワークによる文化研究

——素朴反映論と読“社”感想文を超えて

討論者：若林 幹夫（早稲田大学）

司会者：山田 真茂留（早稲田大学）

閉会の辞 濱口 晴彦

総会 17:15～18:00

懇親会 18:30～ 会場「せきはら」（夏目坂 Tel: 03-3202-0402）

懇親会参加費 一般 5,000円 学生 3,000円